

2016年(平成28年)9月21日

東亜クラウト工業中部支店は8月24日、同社豊橋営業所で、アイスピック管内洗浄工法説明会および現場見学会を実施した。愛知県東三河建設事務所、新城設楽建設事務所や豊橋市をはじめ近隣市町村の職員47人が参加。豊橋市内の現場で実際の洗浄作業を見学し、同工法への理解を深めた(写真)。

現場見学会の対象管路は下水庄送管(100mm×L11400m、塩ビ管)で、洗浄作業



### アイスピック工法 豊橋市で現場見学会

はアイスピック中部地域協会会長会社の山越が担当した。

同工法は、含水率80%の特殊アイスシャーベットにより、管内を痛めることなく洗浄する革新的工法。管内で詰まりの恐れがないほか、伏越し部等に堆積

した夾雑物を除去することができる。

見学会では、注入口で直接手にとりアイスシャーベットの性状を確認した後、管内に一気に注入した。約15分後、夾雑物を抱きかかえて真っ黒に変色したアイスシャーベットが、回収口に設置したアクリル管を通過すると、見学者からは高い洗浄効果に驚きの声が上がった。真夏の炎天下という厳しい条件下であったものの、無事洗浄作業を完了した。